

「解答・解答例」

選抜区分	2025年度 (選抜区分：一般入試 前期) 文学部 比較文化学科 (科目名：総合問題)
問題Ⅰ (解答例)	
問1	少なくとも世界の大部分においては、雪はめったに降らず、珍しいものであるために、しばしばなつかしい記憶を呼び起こす。たとえば雪の日々や、子供時代の楽しさ、ホワイトクリスマスを待ち望みながら過ごした休日などである。
問2	研究によると、ある程度の量の雪は音を60%まで吸収することができる。それはつまり、世界が白く覆われている時には、たしかに世界はより静かに（そしてより穏やかに）感じられるということである。
問3	雪がはかない性質であるために、人々は、雪が降らなければ思いもつかなかったやり方で現在の瞬間をとらえてしまう。
問4	残念ながら、それは最初に消滅する季節となるだろう。
問5	行楽地は若者のスキークラブに対して割引チケットを提供することもできる。それによって雪を愛する新たな世代の人々が、なぜ雪は大切なのかを正しく理解することができるだろう。
問題Ⅱ (解答例)	
(1)	When I read the book, I found that it was like a diary in which an unknown girl wrote her own bitter experiences during the war.
(2)	We can learn it from the people around us, but books tell us that there are many more kinds of world views, views of life and values.
問題Ⅲ (標準的な解答例)	
問一	第二次世界大戦後、経済が世界全体を覆い、インターステイト・システムの中で各国がGDPの上昇を競い合う時代となった。そこでは経済に関連する政治や軍事の動向までもが、個人の努力以上に国民一人ひとりの所得にまで影響を及ぼしてしまうという現実。(118字)

問二

人間は同心円状に広がっていく社会で仲間と共に生きている。人は集団から離れて個になりたい気持ちと集団との絆を保っていたい気持ちの両方を持ち合わせているが、危機に際しては仲間を見捨てるとはなかなかできないもので、それが人間にとっての正義だと筆者は考えている。そうであるなら、集団の同心円状の最も外側である国家の危機に際しても、国家と運命を共にすることが最低限の倫理となるから。(186字)

問題IV (正答と標準的な解答例)

問一

- ①追徴 ②是非 ③撤廃 ④恣意 ⑤猶予
⑥殊勝 ⑦弱冠 ⑧枚挙 ⑨川柳 ⑩禍

問二

もっと勉強しておけば良かったと後悔しても、それは後の祭りだ。

問三

自分には関係のない出来事で、少しも痛痒を感じない物事のたとえ。